

栄養管理室



管理栄養士

【栄養管理室の役割】

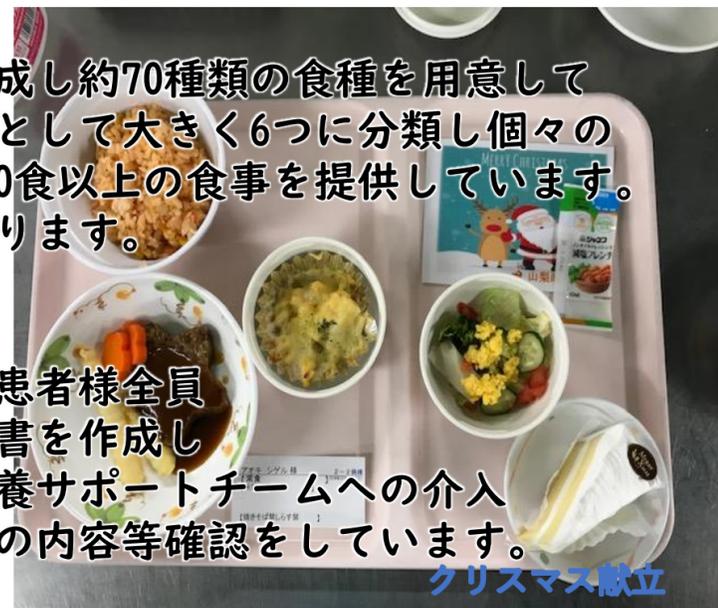
正しい給食管理のもと患者様の栄養管理を行うことが重要な役割と考えて日々の業務に取り組んでいます。

☆給食管理

医師の指示のもと栄養基準表を作成し約70種類の食種を用意しています。食事形態は常菜をはじめとして大きく6つに分類し個々の状態に即した対応を行い毎食、300食以上の食事を提供しています。季節折々の行事食をご用意しております。

☆栄養管理

他職域との連携を図りながら入院患者様全員の栄養状態を評価し栄養管理計画書を作成しています。定期的な更新の中、栄養サポートチームへの介入や特別食への対応やアレルギー食の内容等確認をしています。



クリスマス献立

【食事形態】 ※このほかにソフト食・ミキサー食・ゼリー食もあります。
超キザミ食(1mm未満) キザミ食(1cm) 一口キザミ食(2cm)



栄養サポートチーム (NST) のご紹介

「栄養サポートチーム (NST)」とは、様々な職種が専門的な知識を持ち寄り、入院患者さんの治療が円滑に進むように栄養面からサポートを行うチームです。患者さんの状態を把握し、一人ひとりに適した栄養管理が行えるよう、活動しています。



～活動目的～

- 患者さんの状態に見合った栄養管理を行い、栄養状態の改善を目指します。
- 栄養状態を良くすることで、予防、治療、リハビリが順調に進むためのお手伝いをします。

～主な活動内容～

- 主治医より依頼を受け、その患者さんに適した栄養摂取の方法を検討。
- 口から食事を食べることを目標に、栄養状態の改善を目的とした経腸栄養の実施。
- 栄養状態の評価、栄養治療計画の作成、見直し。 など



【栄養相談】

- 食事に関する疑問や悩み事への対応
- 治療食に関する栄養指導
- カロリー制限、減塩、低蛋白、嚥下困難等、疾患別の通販弁当や特殊調整品の紹介
- 治療食以外の一般食、やわらか食、ミキサー食・離乳食等状況に応じた食事の作り方など

栄養相談は完全予約制となっています。お電話での相談にも対応しています。お気軽にご連絡ください。

専門的な知識と技術で支援いたします

患者様からのご要望に
応えていきます

お近くのスタッフにお声掛けください

Interprofessional Work : 多職種協働実践
山梨厚生病院 IPW推進プロジェクトチーム

緩和ケア認定看護師からの
知って得する豆知識

がん治療における
アピアランスケアってなんだろう

がん医療においては、診断や治療法が進歩して社会とつながりをもちながら治療・療養生活を送っている がん患者さんが増えてきています
治療中に生じる外見の変化によって自分らしさを失ったと感じる患者さんの苦痛を軽減することを目指したケアになります

当院のアピアランス関連のコーナー



アピアランスのお困りごとは、緩和ケア認定看護師、外来治療室看護師に、外来・病棟看護師に 声をかけてください

山梨県の助成事業

がん患者のアピアランス支援事業
がん治療に伴う外見の変化を補完する補助具(ウィッグ、補正下着、人工乳房など)の購入費用の補助を行っています

お問い合わせ・申請先
・お住いの市町村にお問い合わせください



■横浜市 × アピアランス支援センター アピアランスケアリーフレット「ウィッグを買いたいと思ったら」
<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/appearance/100/20221013NEW.pdf>
■患者さま・医療者向け資料
<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/appearance/080/index.html>

監修：
国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センターセンター長 公認心理師・臨床心理士 藤間勝子先生